

知っていますか？

ネコちゃんの慢性腎臓病

2018年12月号



vol.4

編集者 寺越

こんにちは！

あと少しで2018年も終わってしまいますね。

大掃除に新年の準備に...段々忙しくなっている頃ではないでしょうか？

さて、今月はネコちゃんの腎臓病についてです。

理由は、腎臓病で入院している子のお世話を担当させていただく機会が多く、とても多い病気なので、今ネコちゃんを飼っている人・これから飼おうと思っている人に知っておいて欲しいと思い掲載しました。

プチ情報

ネコちゃんの祖先は砂漠で暮らす動物だったと言われていました。そのため水を飲む量が少なく、尿が濃く作られるようになり、腎臓に負担がかかりやすいと言われています。



「実は腎臓のつくりはネコちゃんとワンちゃんです。」

ネコちゃんの腎臓病とは？

腎臓病になると水分を体に戻す働き（再吸収）が下がって、**体の水分を失ってしまい血液が濃くなります。**その結果実際より毒素の値が高くなり、早い段階で症状が現れます。
→**点滴で体液を補って**あげれば症状を改善することが期待できます。

ワンちゃんの腎臓病とは？

腎臓病になると老廃物をろ過する機能が低下し、**身体に毒素が溜まって**いきます。症状が現れるまでに時間がかかるため、気づいた時には**尿毒症**に陥っていることが多いです。



どうしてネコちゃんに多いの？

ネフロン数がイヌの約半分しかありません。そのため腎臓病になりやすいといわれています。



腎臓の働きは？

腎臓病になると？

・尿を作る

体の中の老廃物を尿として排泄する。



尿が作られなくなり老廃物が体に溜まる

・血圧を調節する

体の中の水分バランスを整え血圧を調整する。



血圧が高くなる

・血液を作る

赤血球を作るホルモンを分泌する。



血液が作られなくなり貧血になる

見逃さないで、そのサイン！

- 水を飲む量が増えた
- おしっこの量が増えた
- 食欲がなくなった
- よく吐くようになった
- 体重が減った

一度ダメージを受けた腎臓は元には戻りません。

一つでも当てはまっていれば

病院へ

検査項目

- ・尿検査
- ・超音波検査
- ・血液検査 など

治療法は？

- ・脱水症状改善のための点滴
- ・血圧をコントロール、貧血を改善する薬
- ・食事療法
高血圧にならないようにナトリウムやリンの制限
老廃物を減らし、腎臓への負担を軽減する為にたんぱく質の制限



腎臓病は**早期発見・早期治療**で進行を遅らせることができます。気になる方は一度検査してみませんか？